

2022年4月13日

受益者のみなさま

三菱UFJ国際投信株式会社

「PIMCO 米国バンクローンファンド<世界通貨分散コース>  
(毎月分配型) / (年2回分配型)」における組入通貨の変更について

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は弊社の投資信託に格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、弊社「PIMCO 米国バンクローンファンド<世界通貨分散コース> (毎月分配型) / (年2回分配型)」におきまして、2022年4月4日に投資先ファンドにおいて投資しているロシアルーブルのポジションを解消し、米ドルを中心とした取引対象資産の通貨（以下、「原資産通貨」）への投資を行っていましたが、組入通貨を中国元に変更いたしましたので、お知らせ申し上げます。

なお、2022年4月15日以降、本件変更を反映した基準価額が算出されます。

本件変更後も当該ファンドの運用方針および運用プロセスには変更はございません。

本件変更の趣旨についてご理解賜りますとともに、今後とも弊社投資信託をご愛顧の程、よろしくお願い申し上げます。

本件変更に関しまして、受益者のみなさまのお手続きは不要です。

敬具

記

1. 対象ファンド

- ・ PIMCO 米国バンクローンファンド<世界通貨分散コース> (毎月分配型)
- ・ PIMCO 米国バンクローンファンド<世界通貨分散コース> (年2回分配型)

2. 変更日

2022年4月13日

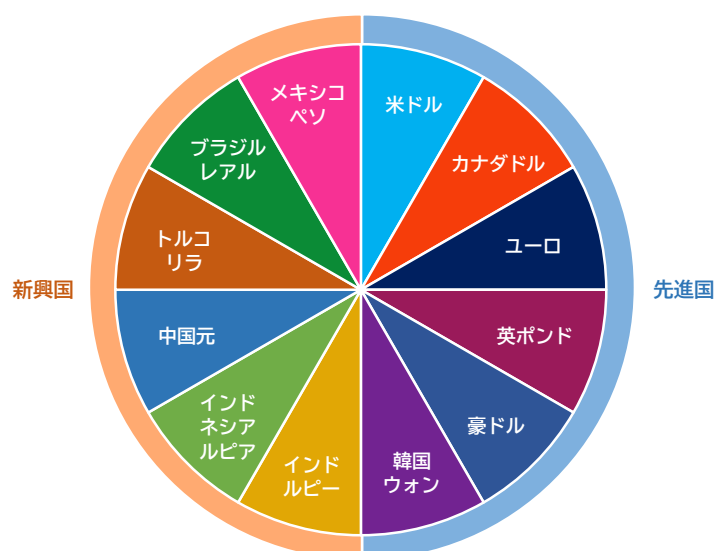
※目論見書は、次回改版日の2022年7月9日に変更を反映する予定です。

3. 変更内容

組入通貨をロシアルーブルから中国元へ変更するものです。

※2022年4月4日以降、投資先ファンドにおいて投資しているロシアルーブルのポジションを解消し、米ドルを中心とした原資産通貨への投資を行っていました。

### <通貨配分のイメージ>



※為替対応方針における組入通貨については、先進国と新興国の複数の通貨に分散投資を行い、通貨の分散を考慮し、原則として12通貨へ投資を行います。また、各通貨の実質的な配分が概ね均等になることを基本とします。

※組入通貨については、世界各国の長期的な経済構造の変化等を考慮し、入替えを行う場合があります。なお、資本規制等が設けられ、継続的な投資が困難となった場合等には、当該通貨を除外することがあります。

※上記はイメージであり、実際の通貨配分とは異なる場合があります。また、組入通貨については、今後変更となる場合があります。

※先進国、新興国のグループ分けはIMF（国際通貨基金）の定義に基づいています。

#### 4. 変更の理由・背景

今般のロシアによるウクライナへの侵攻に伴い、ロシアルーブルの流動性が低下していること等を勘案し、投資先ファンドにおいて投資しているロシアルーブルのポジションを解消し、米ドルを中心とした原資産通貨への投資を行ってまいりました。

中国については、同国経済が高い成長を続けており、今後も拡大が見込まれております。また、近年中国当局が中国元の国際化を進めており、他の新興国通貨と比較して取引面での大きな制約がない状況であること等を総合的に勘案し、組入通貨をロシアルーブルから中国元へ変更することといたしました。

以上

- 本お知らせに関するお問い合わせ  
三菱UFJ国際投信 お客様専用フリーダイヤル 0120-151034  
【受付時間／9：00～17：00（土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）】
- 受益者さまの個別のお取引内容についてのお問い合わせ  
お取引のある販売会社の本支店へお問い合わせください。